

【報道関係各位】

2022年5月25日

株式会社 unerry

一般財団法人 日本気象協会

株式会社 ALiNK インターネット

人流データ×気象データ連動のプッシュ配信サービス「天気プッシュ」を unerry と「tenki.jp」が共同開発 広告配信サービスとアプリ機能提供を開始 ～unerry の月間 300 億件超の人流データと「tenki.jp」の気象データの連動により、場所のみならず、シチュエーションまでも理解したコミュニケーションが可能に～

リアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank」を運営する株式会社 unerry（東京都港区：代表取締役 CEO 内山英俊 以下、unerry）と、天気予報専門メディア「tenki.jp」を運営する一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太）および株式会社 ALiNK インターネット（本社：東京都新宿区、代表取締役 CEO：池田 洋人）は、人流データと気象データに基づくプッシュ配信サービス「天気プッシュ」を共同開発いたしました。広告配信サービスとアプリ機能提供を 5 月 25 日（水）より開始いたします。

「天気プッシュ」は、現在もしくは近い未来の天気予報を踏まえた上でアプリユーザーの推定属性や行動傾向、または自社アプリへの導入の場合はアプリ情報をもとにコンテンツを振り分けることのできるプッシュ配信サービスです。

人流データ×気象データで、状況に合ったプッシュ配信・広告を実現

スマホアプリ機能「天気プッシュ」提供開始！

「東京が晴れ」で「東京在住の方」向けの場合

〇〇〇アプリ PUSH
本日おでかけ日和！ BBQ には「うねりビール」を♪

「大阪が雨」で「大阪在住の方」向けの場合

〇〇〇アプリ PUSH
雨でも楽しく！ おうち飲みには「うねりビール」♪

unerry | tenki.jp

■背景

個人のプライバシー保護にむけ、従来行われてきたサードパーティクッキーを活用したターゲティング広告が困難になる中、生活者の動向を的確に捉えた新たなコミュニケーション手法への転換が求められています。

そこで「プライバシーへの配慮」「生活者を取り巻く状況の適切な理解」を両立したサードパーティクッキーに依存しない新たな情報配信の仕組みが必要と考え、3社はリアルタイム人流データと気象データを活用した情報配信サービス「天気プッシュ」の提供に至りました。

unerry は、月間 300 億件超（2022 年 5 月現在）の人流データをプラットフォーム上に蓄積しており、実社会のデータを AI 解析することで、さりげなく心地よい情報が必要な人に届く「環境知能」の社会実装を目指し、広告やレコメンド等のマーケティングサービスを提供しています。

今回の「天気プッシュ」では、人の行動に大きな影響を与える気象データとの組み合わせが可能となり、ユーザーの「環境」をより理解したコミュニケーションが実現します。

■「天気プッシュ」の特徴

「天気プッシュ」は、天気/気温/降水・湿度といった気象データに時間やエリアの条件、そして人流データから推定されたユーザーの属性や自社アプリのデータごとにコンテンツの振り分け設定が可能なプッシュ配信サービスです。

広告配信を行う場合の振り分け設定

天気の条件設定		プッシュ配信設定
エリア 鎌倉市 市区町村単位での 詳細な指定が可能	予報 天気 半分以上が ○○なら <input checked="" type="checkbox"/> 晴れ <input type="checkbox"/> 雨 <input checked="" type="checkbox"/> 曇り <input type="checkbox"/> 雪 ○○が一つでも あれば/なければ <input type="checkbox"/> 雨 <input type="checkbox"/> 雪	配信対象者 人流 ビッグデータを 解析し推定 性別 女性 年代 20~40代 居住地域 神奈川県 行動傾向 アウトドア好き
予報時間 明日 13時~16時 翌日、○日後などの 未来日時を設定	気温 最高/最低気温が ○○度以上/ 以下なら 最高気温 ▼ 20 °C ● 以上 ○ 以下	配信時間 5月20日 11時00分
	降水・湿度 降水確率/湿度が ○○%以上/ 以下なら 最高湿度 ▼ 40 % ○ 以上 ● 以下	

※図は簡略化しています。詳細な設定可能条件は別途お問い合わせ下さい。

●広告配信サービスの特徴

・気象データに加えて、unerryの人流データを解析することで、推定される年齢や性別、居住地域、勤務地域といったデモグラフィック情報や、「よく渋谷に行く人」「よくファミレスに行く人」など、普段の行動傾向を踏まえた高度な配信セグメント設計が可能

・unerryの「Beacon Bank」が連携するアプリネットワークの中で、自社商品と親和性の高いアプリに広告出稿することが可能

・位置情報技術の活用により、来店やイベント来場など広告効果の検証ができ、広告施策のPDCAを回すことが可能

想定配信例:飲料メーカー

おでかけ系アプリのユーザーに向けた広告配信により、商品購入モチベーションを向上

「今日はバーベキュー日和！お肉のお供に「うねりビール」

(大阪在住の20歳以上の方をターゲットとして、週末の晴れた日、昼頃配信)

●アプリ機能提供の特徴

・自社アプリに「天気プッシュ」機能を導入することで、自社アプリのデータ、コンテンツに人流データや気象データを掛け合わせ、お客様とのコミュニケーションを多様化させることが可能

想定配信例:スーパーマーケット

自社アプリユーザーに向けた情報発信を行い、来店モチベーションを向上

「週末は梅雨寒。ほかほかご当地カレー10%OFFクーポン配布中」

(スーパーマーケットアプリ利用者、気温10°C以下の日の前日、夕方頃配信)

■unerry × 一般財団法人 日本気象協会 × 株式会社 ALiNK インターネット共同ウェビナー
本サービスの詳しい内容や、先行事例などをウェビナー形式でお伝えします。

unerry の人流データ × 天気予報データで実現する「天気プッシュ」
～梅雨どき・盛夏の消費者マインドに刺さる情報配信とは！？～

登壇者：

株式会社 unerry Beacon Bank 事業部 ビジネスプロデューサー 一枝悟史

一般財団法人 日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 齊藤愛子

株式会社 ALiNK インターネット 取締役 CSO 富田知尚、サービス統括グループ 片岡拓也

開催日時：2022年6月7日(火)14:00～15:00

詳細・申込み：以下の URL よりお申し込みください。

<https://www.unerry.co.jp/seminar/20220607/>

■「Beacon Bank」について

unerry が開発・運営するリアル行動データプラットフォームです。月間 300 億件を超える屋内外のスマートフォン位置情報ビッグデータを蓄積し、AI 解析を行います。GPS 活用だけでなく、ビーコン相互シェアを可能にする特許技術を活かし、全国約 210 万箇所のビーコンネットワークを構築。また、延 1.1 億ダウンロードの連携アプリによるユーザカバレッジ、デジタルプラットフォームや購買データとの連携により、分析からマーケティング施策実施までワンストップでの支援が可能となっています。

■「tenki.jp」について

日本気象協会が発表する気象情報を、Web サイト／スマートフォンアプリで提供している天気予報専門メディアです。1997年9月にサービスを開始し、20年以上の歴史があります。年間ページビュー数は56億PV(Web ページ・スマートフォンアプリ合算での推定)。生活に欠かせない天気予報に加え、専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報も確認できます。気象予報士が日々提供する「日直予報士」も人気コンテンツです。

*本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。